

事業者排出量削減報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成25年7月31日
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区四条通室町東入函谷絆町9番地	報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) 京都中央信用金庫 理事長 布垣 登 電話 075 - 223 - 8230

主たる業種	協同組織金融業 (信用金庫)		細分類番号	6	3	1	1	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計 画 期 間	平成23年4月から平成26年3月まで							
基 本 方 針	京都鑑定香採択の地である”京都”を地盤とする信用金庫として、また、CSRの一環として、地球環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会の持続的発展に寄与していきます。							
計画を推進するための体制	平成22年4月1日に本店ビルにおいてISO14001の認証取得しその体制を継続している。新店舗や建替え店舗については環境配慮型店舗とし、本業においてはエコ定期預金の販売し環境に配慮しています。							
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率		
	事業活動に伴う排出の量	4,965.4 トン	4,337.3 トン	4,165.4 トン	4,189.0 トン	-14.8	パーセント	
	評価の対象となる排出の量	4,994.2 トン	4,337.3 トン	4,164.3 トン	4,189.0 トン	-15.3	パーセント	
	実績に対する自己評価	ISO14001を取得したことによる環境意識の向上と、原子力発電所の発電停止による節電が相まって大きな排出量の低下となりました。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業所	事業活動に伴う排出の量 床面積×1/100	4.98	4.36	4.19	4.23	-14.46	パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()						パーセント
	実績に対する自己評価	昨年節電対策を講じた状態を維持するとともに、古い設備のの更改に努めた。						
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備 考		
		93.0	100.0	100.0	106.0			
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	ISO14001による環境意識の向上と節電対策を講じた。また、LED照明器具、空調機の高効率化機器の交換を進めた。						
	(24)年度	ISO14001による環境意識の向上の継続と夏季・冬季に空調機等の節電体制を強化した。また、LED照明器具、空調機の高効率化機器の交換を進めた。						
	(25)年度	ISO14001による環境意識の向上の継続と夏季・冬季に節電体制を強化し空調機・照明器具の消灯等に努めた。また、LED照明器具の導入や空調機の高効率化機器の交換を進めた。						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措 置 の 内 容	公共交通機関による通勤を原則定めている						
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	計画通りの対応を図った。						
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備 考			
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	1.1 トン	0.0 トン				
合 計	0.0 トン	1.1 トン	0.0 トン					
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	環境問題に関する地域貢献の一環として、金利を上乗せしたエコ定期預金を平成25年9月2日~10月4日間90億円を販売し、定期預金残高の0.015%を「地球環境基金」に寄付をおこなった。							
特 記 事 項								

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 注2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。